

博士課程(後期)1年生の皆様へ

平成 29 年 4 月 4 日  
キャリアパスデザイン推進室  
アドバイザー 増山博行

博士後期課程に進学の皆さん、おめでとうございます

キャリアパスデザイン推進室では、大学院生が自らのキャリアパスをデザインするのを援助するため、大学院生が自らのキャリアパスを確立し、社会に出て専門性を活かして活躍できるように在学中から助言を行います。具体的には学位をとるために必要なこと、博士人材を求めている社会、研究上の悩みなど、個別相談に応じます。各種研究資金・奨学金の応募に関する助言を行います。キャリアデザインⅡ（前期 2 単位）の授業を企画実施、インターンシップの紹介、その他の助言・相談を行っています。また、「未来を拓く地方協奏プラットフォーム HIRAKU」の事業と連携した取り組みも行っています。

博士課程三年の計は今にあります。お渡しする「大学院学生研究手帳」をよく読み、博士課程修了後をイメージして、下記の工程表の例を参考にして、各自のより詳しい工程表を立て、研究手帳に記入しましょう。

### 1 年次

研究計画の立案  
修士論文をジャーナルへ投稿  
国内外での学会発表  
キャリアデザインⅡの履修  
学振特別研究員に応募  
インターンシップ、夏の学校

### 2 年次

研究計画の見直し  
D 論研究の本格化  
途中成果を学会発表  
第 2 報の論文作成  
武者修行、学外特別研修  
業界分析・自己分析  
会社説明会・面接

### 3 年次

就職活動またはポストクに応募  
D 論研究の仕上げ  
第 3 報の論文作成  
論文のジャーナル出版  
D 論作成開始(8 月)  
D 論仕上げ(12 月)  
学位取得

手帳 21 ページの行程表 博士修了に必要な要件は専門分野・所属する専攻ごとに異なります。

4 月 15 日に第 1 回目が開講するキャリアデザインⅡの講義（大半のコマは遠隔講義で理学部棟第 5 共用ゼミ室 310 にて聴講可）では、在学中あるいは社会に出て必要となる様々なスキルを講義します。詳しくは本学の web シラバスで閲覧し、履修登録してください。今年度からは通年、あるいは 2 年にわたっての履修も可能となりました。

一昨年度後半から、山口大学では広島大学・徳島大学とコンソーシアムを組んで、科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業 HIRAKU(未来を拓く地方協奏プラットフォーム)を行っています。このプログラムには企業で活躍中の人を講師に人材セミナーの開催や国内外の企業・研究機関での長期インターンシップ派遣事業などがあります。学内通知やキャリアパス形成支援室の web ページをご覧ください。また、メールアドレスを登録の方にはメールで案内を行います。

個別相談を希望する人は、別紙の面談シートを記入してください。面談日は改めて連絡します。ぜひ、気軽に相談してください。

キャリアパスデザイン推進室

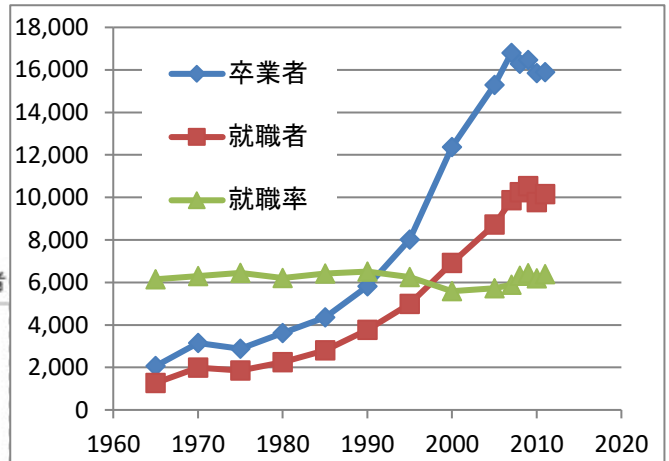
吉田キャンパスは理学部本館南棟 234 室にてアドバイザー増山 [mashi@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:mashi@yamaguchi-u.ac.jp) が対応しています。URL <http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~mashi/cp/> も参照して下さい。

**キャリアパス**：将来の目的や就業のために、学習や仕事の経験、能力開発を通して自らの能力を高めるために、行うべき計画を順序よく系統だて、それを具体化、明確化すること

資料 博士人材をめぐる統計データ

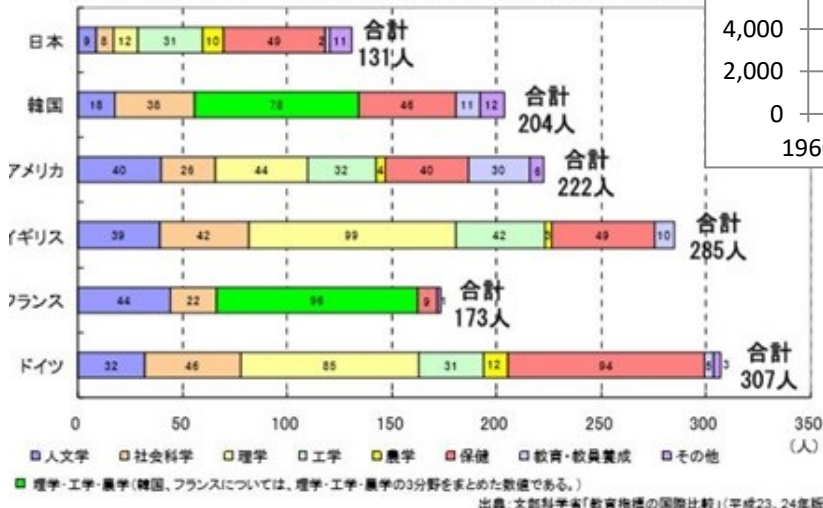
(カラー版は <http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~mashi/cp/data/1704DC.pdf>)

我が国では 1990 年代から大学院拡充策がとられ、社会人や外国人学生も急増し、博士課程修了者は増えてきたが、リーマンショックの前頃から就職率の低下が現れ、入学者が頭打ちとなり、最近では減少傾向である。

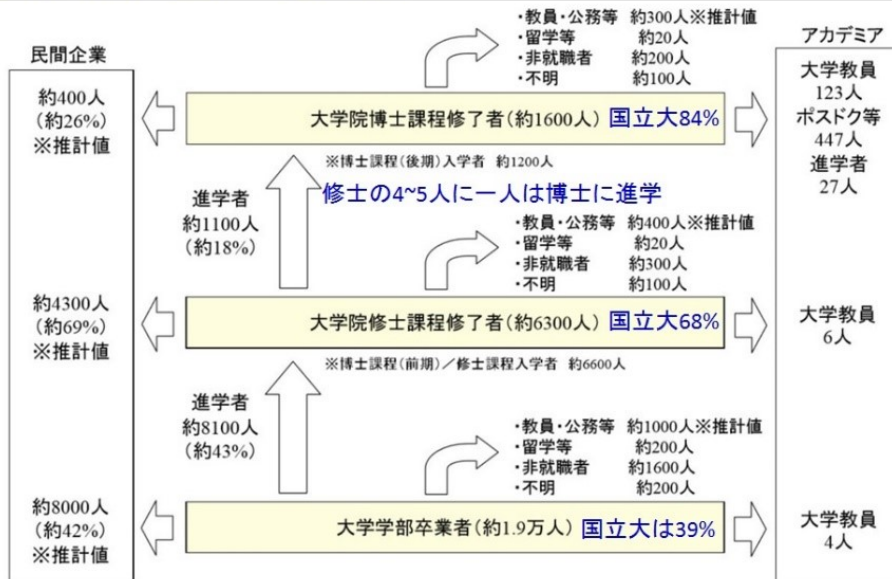


大学院拡充策がとられた背景には我が国の理工系の修士人材は諸外国と引けを取らないが、博士人材は半分程度であり、科学技術力を維持・発展するために必要であるとの政策判断による。

主要国における人口100万人当たりの専攻分野別博士号取得者



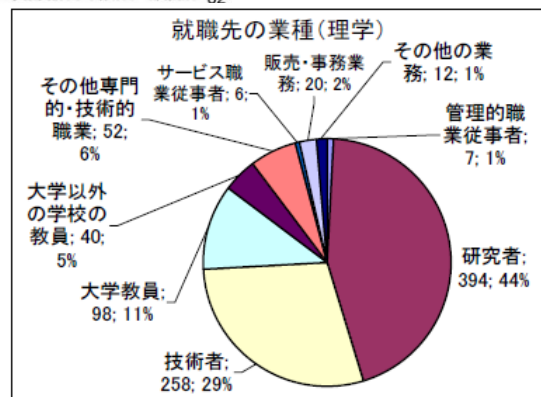
■ 学問分野別の進路フロー推計 (理学)



※平成20年度学校基本調査(文部科学省)及び平成19年度大学院活動状況調査(文部科学省大学振興課)より作成(一部推計) 82

2011年の分野別就職率は下表

全分野	15,892	10,150	63.9%
人 社 芸 家 教	3,328	1,374	41.3%
理 学	1,255	681	54.3%
工 学	3,370	2,399	71.2%
農 学	1,001	566	56.5%
保 健	5,068	4,105	81.1%
そ の 他	1,870	1,025	54.8%



2009年の理学分野の博士の就職先

**博士後期課程の学生の現状把握と今後の進路についての意見交換**

学生氏名： 学籍番号： 居室：  
メール： 指導教員名：

0. 入学前の状況（○をつけてください） 修士から進学 留学生 社会人 その他

1. 研究テーマおよびその概要

0) 修士論文

1) 現在の研究計画と進捗状況

研究テーマ名：

進捗状況

論文執筆・投稿； 学会等発表

2) 今年の具体的研究計画

2. 最近の生活・研究室での様子（特記事項）

3. 将来の進路について

①進路についての基本的考え

②求職活動の経験（就職支援室の相談を含む）の有無と現在の取り組み

③進路相談・就職支援などへの要望

④D論指導についての意見や大学への要望など

4. その他

①キャリアデザインⅡの履修予定

②インターンシップの希望の有無

③その他

5. アドバイザーとの個人面談の希望の有無： 希望する 希望しない 今はわからない